

7月
4日
(金)

原爆症認定集団訴訟・長崎

10日目

座り込みニュース



最終日の座り込み

日差しの強い中、平和祈念像前で25名、正午より1時間、座り込みをおこないました。

森内原告団長は支援のお礼とこれから福岡高裁勝利まで頑張る決意を述べました。今日の座り込みは最終日、山田事務局長はこれまでの原爆症認定集団訴訟の運動、長崎地裁判決の意義について話し、支援を訴えました。柿田相談員は上京した代表団の活動について報告しました。

吉田相談員は被爆者110番活動と、この間の街宣活動で市民に広く訴え、効果的だったことを報告し、これからも支援していく決意を述べました。司会の田中相談員も街宣活動で市民の関心が高く良かったが、市の職員でチラシの受け取りを拒否する人が多く、被爆地長崎の市役所職員として自覚が必要と話しました。

原告北尾さんの長女、大川さんは、もっと若い人がこの運動を支えていかなければ訴えました。

原水禁の西中須さんは在外被爆者の裁判でも何度も国が負ける中で、少しずつ小出しに制度が良くなっていったこと、裁判をしなければ変わらない厚労省、国民の側に立った行政であるべきはず、今後とも運動に参加していくことを述べました。

座り込みは終わりますが、これから新たな運動が始まります。よろしくお願いいたします。



7月3日の座り込みの写真(毎日新聞・錦織記者提供)

この2週間の取り組みにご協力いただき、
ほんとうにありがとうございました！！

ご協力をお願いします

7月5日(土) 14時～15時 街宣(浜の町鉄橋)

責任団体 原水禁 平和センター・被爆連・非核県民の会・矢の平被災協・三ツ山被災協他

7月7日(月) 13:30～2陣原告・第13回口頭弁論

13時まで長崎地裁1階ロビーにおいでください。傍聴参加をよろしくお願いいたします。

原爆症認定集団訴訟を支援する会・長崎 長崎市岡町8-20 電話 095-844-0958